

事業評価のスケジュール(案)

資料 2-1

項目	令和3年度(2021)			令和4年度(2022)				令和5年度(2023)			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
評価項目の検討	←→										
評価手法・アンケート内容等の検討		←→									
実績等のとりまとめ、分析				←→							
アンケート調査の実施、とりまとめ、分析					調査実施						
					とりまとめ・分析						
事業実績の評価・今後の課題・方向性の検証					市町村・関係者ヒアリング						
					実績評価・課題等検証						
評価報告書作成				←→							
					● 経過報告	● 最終報告	● 公表				
森と緑づくり委員会	○	○	○ ○	○ 委員改選	○ 委員会にて意見聞き取り	○	○	○	○	○	○

見直し計画の策定

あいち森と緑づくり事業 評価報告書（中間）について（案）

1 経過と予定

- 「あいち森と緑づくり事業」は、平成21年度から開始し、10年を1期とする計画に基づき森林・里山林の整備や都市の緑の保全・創出、環境学習等に取り組んでいる。
- 令和5年度に計画見直しを行うこととしており、令和3年度に評価項目を検討し、令和4年度に県民アンケートや市町村等へのヒアリングを実施し、事業の中間評価（案）をとりまとめる。

2 事業評価報告書（中間）の概要

（1）主な事業の実施状況

事業区分	全体計画 (R1～R10)	実績見込み (R1～R4)	進捗率 (%)
人工林整備（人工林整備） （次世代森林育成）	16,000 ha 450 ha	令和4年度末 時点で整理	
里山林整備（提案型里山林） （指導者養成）	40 箇所 300 人		
都市緑化（緑の街並み推進） （県民参加緑づくり）	1,100 件 1,010 件		
環境活動・学習推進 生態系ネットワーク	750 件 70 件		
普及啓発（体感ツアー） （木材利用）	— 20 件		

（3）主な事業の課題

事業区分	課題
森林整備 （人工林整備）	県民アンケート 市町村等ヒアリング の結果に基づき整理
里山林整備	
都市緑化	
環境活動・ 学習推進	
普及啓発	

（2）県民や事業関係者等の意識

- ① 県民等アンケート
[一般県民 対象 3,000 人（無作為抽出）]
[法人他 対象 500 社程度（無作為抽出）]
- ② 市町村アンケート
[全市町村]
- ③ 事業関係者アンケート
[事業実施主体・参加者 対象 1,000 人程度]
※別紙 アンケート調査 対象者一覧参照

（4）今後の方向性の検討

- ① 森林整備（人工林整備事業）
- ② 森林整備（次世代森林育成事業）
- ③ 里山林整備（提案型里山林整備事業）
- ④ 里山林整備（里山林保全活用指導者養成事業）
- ⑤ 都市緑化（都市緑化推進事業）
- ⑥ 環境活動等推進（環境活動・学習推進事業）
- ⑦ 普及啓発等
- ⑧ 普及啓発等（木の香る都市（まち）づくり事業）
- ⑨ 新たに加える視点、県民や社会が求める事項等
- ⑩ 事業の進め方、今後に向けて

あいち森と緑づくり事業 評価項目、手法などについて(案:1稿)

資料 2-3

事業区分	事業内容等	全体計画 (2019-2028年度)	評価項目	評価項目の考え方等	確認手法	中間報告書			
						本文	資料		
人工林整備事業	林業活動では整備が困難な人工林の間伐の実施や付帯する作業道の整備、中でも、防災効果の高い、道路沿い、集落周辺、河川沿いの間伐を重点的に実施 花粉症対策苗木の植栽、獣害対策、植栽木の保育施業を実施	人工林の間伐 16,000ha 次世代森林育成 450ha	① 事業実績(事業計画に対する進捗状況等)						
			事業計画数量に対する進捗率	事業計画数量に対する実施面積を把握し、事業の進行状況を確認	年度別及び全体計画面積に対する実績を集計				
			② 成果・波及効果						
			県全体の間伐面積に対する整備率	県全体の間伐面積に対する事業実施面積割合等を把握し、間伐における事業の貢献度を確保	県の間伐全体計画に対する実績を集計				
			県全体の植栽面積に対する整備率	県全体の植栽面積に対する事業実施面積割合等を把握し、花粉症対策等への貢献度を確保	県全体の植栽面積に対する花粉症対策の実績を集計				
			森林所有者立会等による事業界の明確化	明確化された森林の筆数、面積を把握し、今後の円滑な森林整備への貢献度を確保	とりまとめ業務委託等の結果の集計(工事台帳)				
			間伐材の搬出・利用状況	間伐材の利用材積を把握し、防災減災対策及び木材の有効利用への貢献度を確保	実態数量の聞き取り等				
			獣害等による被害状況	補植及び獣害等による被害状況等を把握し、循環型林業等への貢献度を確保	実態数量の聞き取り等				
			③ 県民や事業関係者の意識						
			県民の理解、意識	事業内容の理解度、認知度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割等を把握し、計画見直しの参考	普及啓発(全体)と併せてアンケート				
			雇用効果	森林整備事業体の雇用効果を把握し、計画見直しの参考	森林整備事業体にアンケート				
			市町村担当者の理解、意識	事業の有効性、満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等を把握し、計画見直しの参考	市町村担当者にアンケート				
			森林所有者の理解、意識	事業の有効性、満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等を把握し、計画見直しの参考	森林所有者にアンケート				

あいち森と緑づくり事業 評価項目、手法などについて(案:1稿)

資料 2-3

事業区分	事業内容等	全体計画 (2019-2028年度)	評価項目	評価項目の考え方等	確認手法	中間報告書			
						本文	資料		
里山林整備事業 (提案型里山林整備)	手入れが行き届かず、竹の繁茂や枯損木が多く、鬱蒼として人々に利用されにくくなった都市近郊の里山林を、地域住民やNPO等が保全・活用する取組に対して支援	提案型里山林整備 40箇所	① 事業実績(事業計画に対する進捗状況等)						
			事業計画数量に対する進捗率	事業計画数量に対する実施箇所数を把握し、事業の進行状況を確認	年度別及び全体計画箇所数に対する実績を集計				
			② 成果・波及効果						
			地域等の活動状況	年度毎の団体数、活動日数、持続性、一般参加者数等を把握し、里山林の維持管理に対する貢献度を確認	活動団体等に調査を依頼				
			事業関係の相談件数等の推移	事業化への相談件数を把握し、事業に対するニーズを確認	年度毎の状況を整理・集計				
			③ 県民や事業関係者の意識						
			県民の理解、意識	事業内容の理解度、認知度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割等を把握し、計画見直しの参考	普及啓発(全体)と併せてアンケート				
			地域活動団体の理解、意識	事業の有効性、満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等を把握し、計画見直しの参考	地域活動団体にアンケート				
			市町村担当者の理解、意識	事業の有効性、満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等を把握し、計画見直しの参考	市町村担当者にアンケート				
			森林所有者の理解、意識	事業の有効性、満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等を把握し、計画見直しの参考	森林所有者にアンケート				

あいち森と緑づくり事業 評価項目、手法などについて(案:1稿)

資料 2-3

事業区分	事業内容等	全体計画 (2019-2028年度)	評価項目	評価項目の考え方等	確認手法	中間報告書			
						本文	資料		
里山林整備事業 (指導者養成)	地域住民やNPO等による持続的な里山林の保全・活用の取組を県内各地に広げ、多くの県民の参加が得られるよう、正しい知識や技能を習得した指導者等の養成や、里山林に関わる多様な人材の交流を実施	指導者養成数 300人	① 事業実績(事業計画に対する進捗状況等)						
			事業計画数量に対する進捗率	事業計画数量に対する研修受講者数を把握し、事業の進行状況を確認	年度別及び全体計画人数に対する実績を集計				
			② 成果・波及効果						
			活動報告・交流会等の状況	活動報告及び交流会の開催状況を把握し、研修の効果を確認	実態数量の把握				
			フィールドワークの従事状況	研修受講者が行ったフィールドワーク等の従事状況を把握し、研修の効果を確認	実態数量の把握				
			③ 県民や事業関係者の意識						
研修受講者の理解、意識	研修受講者に対し、習得した知識・技術による現場での有効性、満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割等を把握し、計画見直しの参考	研修受講者へアンケート							

あいち森と緑づくり事業 評価項目、手法などについて(案:1稿)

資料 2-3

事業区分	事業内容等	全体計画 (2019-2028年度)	評価項目	評価項目の考え方等	確認手法	中間報告書			
						本文	資料		
都市緑化推進事業	都市における樹林地の保全・創出を図る事業や、民有地の緑化、美しい並木道の再生、県民参加で実施する緑づくり活動や都市緑化の普及啓発活動などへの支援を図るために要する経費を市町村に交付	身近な緑づくり 125箇所 緑の街並み推進 1,100箇所 美しい並木道再生 150箇所 県民参加緑づくり 1,010箇所	① 事業実績(事業計画に対する進捗状況等)						
			事業計画数量に対する達成率	事業計画に対する実施個所数を把握	年度別及び全体計画箇所数に対する実績を集計				
			② 成果・波及効果						
			県民参加人数	参加者数を把握することにより事業効果を評価	実態数量の把握				
			市町村における緑化に関する取組の展開度	市町村の取組み項目を把握することにより事業効果を評価	実態数量の把握				
			優良な緑化件数	地域の土地利用への影響、住民参加の度合い、緑化の規模等から優良な緑化件数、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割等を把握	市町村担当者にアンケート ※件数を把握した上でより効果的な手法を検討していく。				
			③ 県民や事業関係者の意識						
			県民の理解、意識	事業内容の理解度、認知度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割等の把握	普及啓発(全体)と併せてアンケート				
			市町村担当者の理解、意識	事業の有効性、満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等の把握	市町村担当者にアンケート				
			事業実施者の意識	事業の有効性、満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等の把握	事業実施者(民間事業者等)にアンケート				
			緑化活動参加者の理解、意識	緑化活動の参加者を対象にアンケートを実施し、緑化に対する意識変化、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等について把握	イベント等の参加者にアンケート				

あいち森と緑づくり事業 評価項目、手法などについて(案:1稿)

資料 2-3

事業区分	事業内容等	全体計画 (2019-2028年度)	評価項目	評価項目の考え方等	確認手法	中間報告書			
						本文	資料		
環境活動・学習推進事業	多様な主体による自発的な森と緑の保全活動や環境学習の一層の進展を図るため、NPO等を対象に企画提案型の交付金事業を実施 生きものの生息生育空間をつなぐ生態系ネットワーク形成の取組に対し支援	環境活動・学習推進 750件 生態系ネットワーク形成推進 70件	① 事業実績(事業計画に対する進捗状況等)						
			交付金交付事業数	交付金を交付した事業数を把握し事業効果を 確認	実績の集計				
			応募事業数の状況	応募のあった事業数の状況や推移を把握し、 事業効果を確認	実態数量の把握				
			生態系ネットワーク形成の状況	交付事業で新たに創出、または再整備された ビオトープの数を把握し、事業効果を 確認	実績の集計				
			② 成果・波及効果						
			交付金事業への参加者数	交付金事業への参加者数を把握し、事業効 果を確認	実態数量の把握				
			③ 県民や事業関係者の意識						
			県民の理解、意識	事業内容の理解度、認知度、SDGsやカーボ ンニュートラルへの貢献、今後期待する役割 等を把握し、事業見直しの参考	普及啓発(全体)と併せてアン ケート				
			市町村担当者の理解、意識	今後の期待度、改善点等、SDGsやカーボ ンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、 改善点等を把握し、事業見直しの参考	市町村担当者にアンケート				
			事業実施団体の理解、意識	今後の期待度、改善点等、SDGsやカーボ ンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、 改善点等を把握し、事業見直しの参考	過年度の交付事業者にアンケ ート				
			環境活動・環境学習の参加者の理解、 意識	環境活動等の参加者を対象にアンケートを 実施し、意識の変化、SDGsやカーボンニュ ートラルへの貢献、今後期待する役割、改善 点等について把握、評価し、事業見直しの参 考	イベント等の参加者を対象に継 続して調査を実施				

あいち森と緑づくり事業 評価項目、手法などについて(案:1稿)

資料 2-3

事業区分	事業内容等	全体計画 (2019-2028年度)	評価項目	評価項目の考え方等	確認手法	中間報告書			
						本文	資料		
普及啓発 (木の香る都市づくり)	森林整備の意義や木材利用の効果について普及啓発を進めるため、県産木材を利用した多くの県民が利用するPR効果の高い民間施設等の木造化、内装木質化、木製品導入に必要な経費の一部を支援	支援施設 20件	① 事業実績(事業計画に対する進捗状況等)						
			事業計画数量に対する進捗率	事業計画数量に対する支援数を把握し、事業効果を確認	年度別及び全体計画数量に対する実績を集計				
			② 成果・波及効果						
			支援施設利用者数等の推移	支援施設の利用者数の状況を把握し、事業効果を確認	実態数量の把握				
			③ 県民や事業関係者の意識						
			県民の理解、意識	事業内容の理解度、認知度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割等を把握し、事業見直しの参考	普及啓発(全体)と併せてアンケート				
支援施設の関係者等の理解、意識	導入した支援施設を中心に、事業の有効性、満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等を把握し、事業見直しの参考	支援施設管理者及び建築士会や建築事務所協会の会員を対象にアンケート							
	導入した支援施設を中心に、事業の満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等を把握し、事業見直しの参考	支援施設の利用者を対象にアンケート							

あいち森と緑づくり事業 評価項目、手法などについて(案:1稿)

資料 2-3

事業区分	事業内容等	全体計画 (2019-2028年度)	評価項目	評価項目の考え方等	確認手法	中間報告書			
						本文	資料		
普及啓発 (全体)	県民共有の財産である森や緑を次の世代に健全な状態で引き継ぐため、森と緑づくり税の必要性や事業の取組への理解促進を目的に、様々な機会を通じてPRを実施	-	① 事業実績(事業計画に対する進捗状況等)						
			事業PRの状況	毎年度のPR実施状況を把握し、PR効果を確認	年度別、方法別のPR実績(回数、参加者数)を集計				
			ポスター配布	毎年度の配布状況を確認し、PR効果を確認	年度別の配布数集計				
			② 成果・波及効果						
			事業認知度等	イベント等で定期的に事業認知度等を把握し、PR効果を確認	年度別のアンケート結果を集計				
			③ 県民や事業関係者の意識						
			県民の理解、意識	森林や緑の重要性の理解度、税及び本事業の認知度、個々の事業内容の認知度、事業内容の理解度、進捗状況の認知度・理解度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割等を把握し、事業見直しの参考	一般県民へアンケート 法人へアンケート [無作為抽出] 県政お届け講座受講者へアンケート				
				事業の有効性、満足度、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割、改善点等を把握し、事業見直しの参考	寄附者を対象に調査を実施				
			県民の理解、意識 (イベント・事業への参加者等)	森林や緑の重要性の理解度、税及び本事業の認知度、個々の事業内容の認知度・理解度等、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割等を把握し、事業見直しの参考	イベント等の参加者を対象に継続して調査を実施				
				森林や緑の重要性の理解度、税及び本事業の認知度、全国植樹祭の理念継承の認知度・理解度等、SDGsやカーボンニュートラルへの貢献、今後期待する役割等を把握し、事業見直しの参考	全国植樹祭理念継承イベント等の参加者やスクールステイ対象校を対象に調査を実施				

あいち森と緑づくり事業アンケート調査 対象者一覧(案)

資料 2-4

番号	対象者	標本数	選定	備考	
	一般県民	3,000	抽出		
	法人	156	抽出		
	市町村(調査票1~8)	54	全数		
	県政お届け講座受講者 (R4 申請者)	50	全数	新規	
事01	人工林整備事業 (R1~)	【森林所有者】	300	抽出	
事02		【事業体】	30	全数	
事03	提案型里山林整備事業 (R1~)	【森林所有者】	30	抽出	
事04		【地域活動団体】	20	全数	
事05	都市緑化推進事業 (R1~)	【緑地・緑化事業者】	80	抽出	
事06		【施設管理者】	80	抽出	
事07		【R4 一般参加者】	50	抽出	新規
事08	環境活動・学習推進事業 (R1~)	【事業実施団体】	300	全数	
事09		【R4 一般参加者】	50	抽出	新規
事10	木の香る都市づくり事業 (R1~)	【支援施設管理者】	30	全数	新規
事11		【建築設計士・事務所】	30	抽出	新規
事12		【施設利用者】	30	抽出	新規
事13	里山林保全活用指導者養成研修	【R4 受講者】	50	全数	新規
	計		4,340		

※アンケートの内容については、令和4年度の第1回委員会(R4,7月上旬開催予定)においてお示しし、御意見を伺う予定です。